

日本核医学技術学会法人化についての質問および回答

Q 1 : 正会員と一般会員のどちらに登録すればいいのでしょうか？

A 1 : 正会員 : 総会に出席して議決権の行使を希望される方はこちらに登録ください。

一般会員 : 学術活動として学会を利用したい方はこちらに登録ください。

正会員に登録いただく方は、「私は、学会の運営や方針決定に参画するため、総会に出席して議決権を行使する」という方で、必ず総会に出席しなければなりません（委任状や書面表決もOKです）。一般会員は、「私は学会の運営や方針決定はお任せするので学術活動として学会を利用したい」という方が登録いただければよろしいと思います。各会員の権利は上記の議決権以外は全く同一で、年会費、入会金についても同一です。

Q 2 : 会員種別を分けたのは何故ですか？

A 2 : 総会を成立させるためです。（出席定数）

日本核医学技術学会が目指す特定非営利活動法人は、総会成立要件を正会員の 2 分の 1 以上の出席と定めています。会誌 Vol.28-2 のお知らせでご説明したように、現在のように会員全員を正会員とすれば、総会成立は極めて困難で、成立しなければ法人活動はできません。従って、A 1 のように「私は総会に参加する」という方のみ正会員登録していただきたいわけです。

Q 3 : 正会員と一般会員登録の方法について教えてください。

A 3 : 正会員 : 日本核医学技術学会ホームページから登録できます。

一般会員 : 一般会員は手続き不要です。

法人化後は、現在の会員は全員が一般会員としてスタートします。正会員に登録を希望される方は、2009年3月頃の法人登記（予定）後、日本核医学技術学会ホームページに登録フォームを作成する予定です。また、会誌にも正会員登録申込書を掲載予定です。一般会員を希望される方の登録は不要です。

Q 4 : 今後、一般会員と正会員の種別変更はどのようにすればいいのでしょうか？

A 4 : ホームページ等よりいつでもできます。

一般会員と正会員間の会員種別変更は、会員の意思でいつでも申し込むことができます。申し込みは、法人登記が終了後に日本核医学技術学会ホームページ登録フォームまたは、会誌に掲載予定の申込書をFAXにて送付いただく予定です。ただし、種別の変更は、申し込み後理事会で変更登録が確認された後に異動されたものとします。

Q 5 : 地方会も法人になるのでしょうか？

A 5 : なりません。

地方会は、日本核医学技術学会組織直下の支部組織ではありませんので、今回の法人化との関連はありません。

Q 5 : 法人になった後、何か変わることはありますか？

A 5 : 学会活動内容は何も変わりません。

学会の運営は何も変わりません。会員の種別が増えるのみです。今後は、会員への情報提供の向上を目的にホームページなど電子情報の有機的な活用が検討されています。方針が決定されれば、会員全員に大学病院医療情報ネットワーク (University Hospital Medical Information Network : U M I N) で提供している I D の取得をお願いする予定です。取得の手続きは学会で行いますが、同意が得られた方のみとします。